

# 最優秀賞 林野庁長官賞

## 森林と水と人間

横浜市立谷本小学校

六年 高見恵花

森林と水と人間は、つながっています。例えば、水は森林と人間を育み、森林は水をきれいにし、人間に酸素を与えます。そして、人間と水の力をかりて森林が育つということです。ですから、そのどれかがなくなってしまうと、自然はくずれてしまいきます。しかし実は、森林がこの地球から消えかけているのです。

森林を巡って今、人間は様々な問題を抱えています。油をとるため、密かに木を伐採したり、しせつの建設でじやまになる木々を、勝手に焼はらったりと、違法な森林破壊は後を絶ちません。そして、オランウータンなどの野生動物たちのすみかが、うばわれてしまっています。また、法律を違反していなくても、紙を使ったりすることが、実は木をぎせいにしています。森林を破壊していることになるのです。

他にも、酸性雨が原因の例もあります。酸性雨とは、酸という悪い物質が工場で発生し、けむりにのって雨と混ざったもので、それが降ると木々が枯れてしまいます。木々が枯れると、森の貯水力が弱くなり、大洪水が起きやすくなったりと、人に大きな影響を与えるのだと学びました。酸をたくさん出して工場を、私

たちは止められませんが、自然に配慮した商品の方を選んだりすると、森林を守ることにつながります。

このように、森林と水と人間のつながりがくずれそうになっています。そんな問題を引き起こしたのは人間であり、もとの戻すために努力するのも人間です。一本の木のぎせいが積み重なって、森林のぎせいとなってしまったように、一人ひとりの努力がこの現状をくつがえすことができると思います。そのためにはまず、森林に興味をもって知り、それから、エコマークのついた商品や再生紙を選んで使うなど、小さなことから少しずつ森林を守ることに取り組んでみようと思います。

